

中国地方在住者からみた
中国地方の観光実態と魅力度

報告書

平成 25 年 3 月

中国経済連合会

目 次

1. 調査概要	1
1) 調査目的	1
2) 調査手法及びサンプル数.....	1
3) 観光エリアの設定.....	1
2. 調査結果	3
1) 回答者属性	3
2) 同行者	4
3) 訪問率	5
4) リピート希望率、訪問希望率.....	9
5) 満足度：訪れた人の評価の高い観光エリア.....	13
6) 期待度：訪れたことのない人の評価の高い観光エリア.....	17
7) 満足度と期待度.....	21
8) 自分の住んでいる街の評価.....	22
9) 新たな観光スタイルの評価.....	23
3. まとめ	24
1) 中国地方の観光地の実態とイメージ.....	24
2) 評価の高い観光エリアの要因把握.....	25

(別冊資料：自由記述一覧)

「とても良かった、感動したからもう一度行ってみたい」具体的な場所-----	1
「とても良かった、感動したからもう一度行ってみたい」具体的な理由-----	18
「是非行ってみたい」具体的な場所-----	35
「是非行ってみたい」具体的な理由-----	49
自分の住んでいる街の評価及び理由-----	63

1. 調査概要

1) 調査目的

- ①中国地方の観光エリア毎の訪問希望率、リピート希望率を把握し、中国地方の観光地の実態と魅力を明らかにする。
- ②評価の高い観光地の要因を具体的に把握・分析し、イメージアップ方策や内容充実方策について検討する。
- ③伝統文化や農業体験などの新たな観光ニーズを把握し、地域資源を活かした観光に向けた基礎資料とする。

2) 調査手法及びサンプル数

(2012年度調査：今回調査)

- ・実施日 : 2012年9月6日～9日
- ・調査手法 : インターネット調査 (株楽天リサーチ) により実施
- ・サンプル数 : 中国5県500件 (各県100件)

(比較データ：2008年度調査：前回調査)

- ・実施日 : 2008年7月10日～15日
- ・調査手法 : インターネット調査 (株楽天リサーチ) により実施
- ・サンプル数 : 中国5県750件 (各県150件)

(18～29歳、30～49歳、50～79歳の3階層50サンプルずつ)

3) 観光エリアの設定

- ・各県の観光動態調査で設定されているエリアをベースとして、観光入込客数の多い観光エリアを中心に、各県10エリア程度、計49エリアを設定した。
- ・観光エリアのイメージや内容をわかりやすくするため、観光エリアの名称だけでなく、そこに含まれる代表的観光資源について3つ程度付記した。

観光エリア及び代表的観光資源

鳥 取 県	1. 鳥取 (鳥取砂丘、浦富海岸、仁風閣など)
	2. 智頭 (石谷家住宅、若桜鉄道、氷ノ山など)
	3. 倉吉 (白壁土蔵の町並み、三徳山三仏寺など)
	4. 三朝温泉
	5. 羽合 (羽合温泉、東郷温泉、燕趙園など)
	6. 北栄 (コナン通り、青山剛昌ふるさと館など)
	7. 大山 (大山、スキー場、植田正治写真美術館、とっとり花回廊など)
	8. 米子 (皆生温泉など)
	9. 境港 (水木しげるロード(記念館)など)

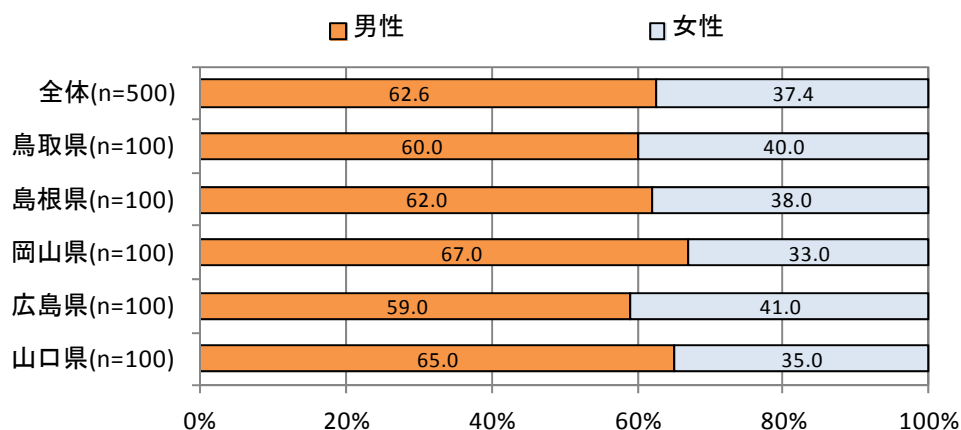
島根県	10. 松江（松江城、小泉八雲旧居、堀川巡り、宍道湖の夕日など）
	11. 玉造温泉
	12. 出雲（出雲大社、一畑薬師、島根ワイナリー、日御碕灯台など）
	13. 奥出雲（鬼の舌震、亀嵩温泉、絲原記念館（たたら製鉄）など）
	14. 安来（足立美術館、清水寺など）
	15. 石見銀山（石見銀山、三瓶山、温泉津温泉など）
	16. 浜田（石見海浜公園、アクアス（水族館）など）
	17. 邑南（香木の森公園、瑞穂ハイランド（スキー場）など）
	18. 津和野・益田（太鼓谷稲成神社、安野光雅美術館、雪舟庭園など）
岡山県	19. 隠岐（隠岐国分寺、玉若酢命神社、知夫赤壁など）
	20. 岡山（後樂園、岡山城など）
	21. 吉備路（吉備津神社、備中国分寺など）
	22. 倉敷（美観地区、大原美術館、チボリ公園など）
	23. 児島・玉野（鷲羽山、瀬戸大橋架橋記念館、下津井、渋川海岸など）
	24. 備前（閑谷学校、備前焼、日生諸島など）
	25. 牛窓（牛窓オリーブ園、海水浴場など）
	26. 高梁（備中松山城、吹屋ふるさと村など）
	27. 津山（新庄がいせん桜、城東の町並みなど）
	28. 蒜山高原
	29. 美作三湯（湯原温泉、奥津温泉、湯郷温泉）
広島県	30. 広島（平和公園、原爆ドーム、お好み村など）
	31. 宮島（厳島神社、弥山、水族館など）
	32. 呉・江田島（大和ミュージアム、旧海軍兵学校など）
	33. 竹原（町並み保存地区、大久野島など）
	34. 尾道（千光寺公園、社寺巡り、映画ロケ地など）
	35. しまなみ海道（耕三寺、平山郁夫美術館など）
	36. 福山（鞆の浦、ばら公園、ふくやま美術館など）
	37. 三次・庄原（三次ワイナリー、帝釈峡、国営備北丘陵公園、奥田元宋・小由女美術館など）
	38. 安芸高田（土師ダム、神楽門前湯治村、広島ニュージーランド村など）
	39. 芸北（三段峡、温井ダム、スキー場など）
山口県	40. 下関（海峡ゆめタワー、海響館（水族館）、唐戸市場、赤間神宮など）
	41. 山口（サビエル記念聖堂、湯田温泉、雪舟庭、瑠璃光寺五重塔など）
	42. 秋吉台・秋芳洞
	43. 萩（松下村塾、松蔭神社、萩博物館など）
	44. 長門（湯本温泉、青海島、金子みすゞ記念館、角島大橋など）
	45. 宇部・山陽小野田（ときわ公園、焼野海岸、産業観光など）
	46. 防府（防府天満宮、周防国分寺、毛利庭園など）
	47. 周南・下松・光（笠戸島、回天記念館、室積海岸、虹が浜など）
	48. 柳井・周防大島（白壁の町並み、片添ヶ浜など海水浴場、サザンセットなど）
	49. 岩国（錦帯橋、岩国城、白蛇、美川ムーバレーなど）

2. 調査結果

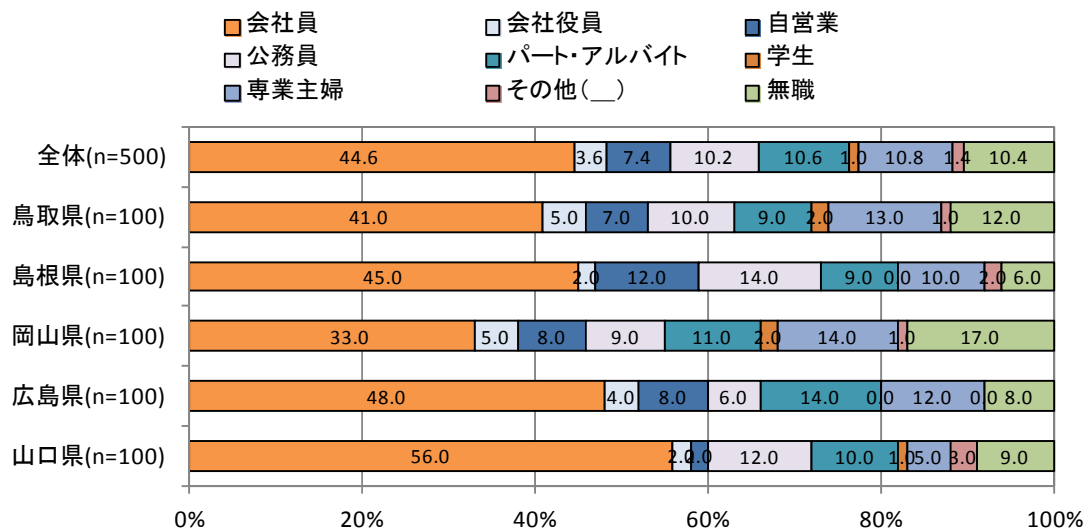
1) 回答者属性

回答者の属性として、居住県については、インターネット調査の実施時点で規定のサンプル数（各県とも 100 件）を得ている。その男女比は男性 6 割、女性 4 割となっており、職業は会社員が 44.6%と最も多く、次いで専業主婦 10.8%、パート・アルバイト 10.6%となっている。

性別

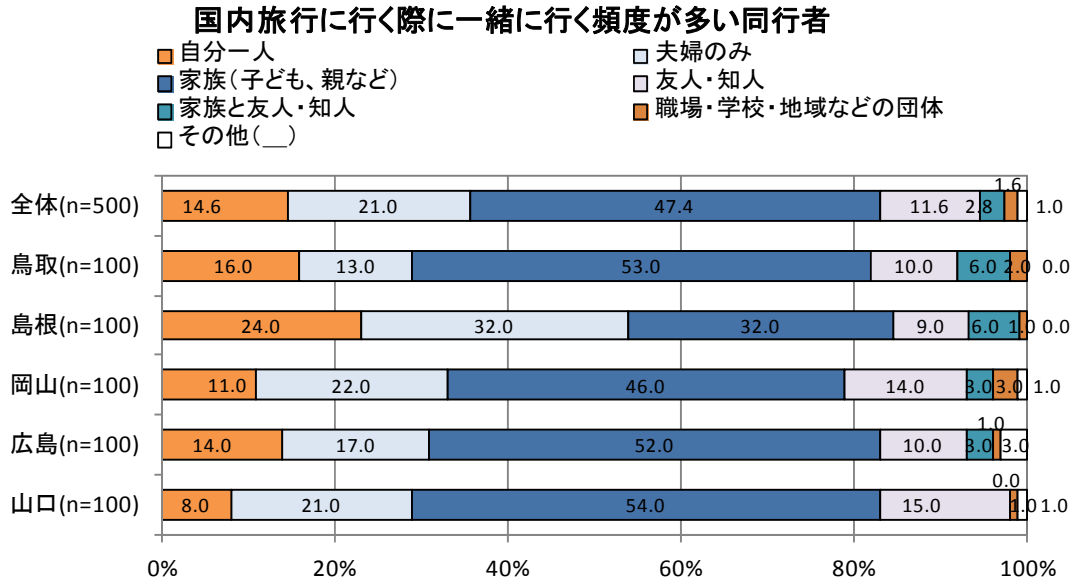


職業



2) 同行者

最も行く頻度が多い同行者は、家族が約半数を占め、夫婦のみを含めると7割近くが家族での旅行となっている。

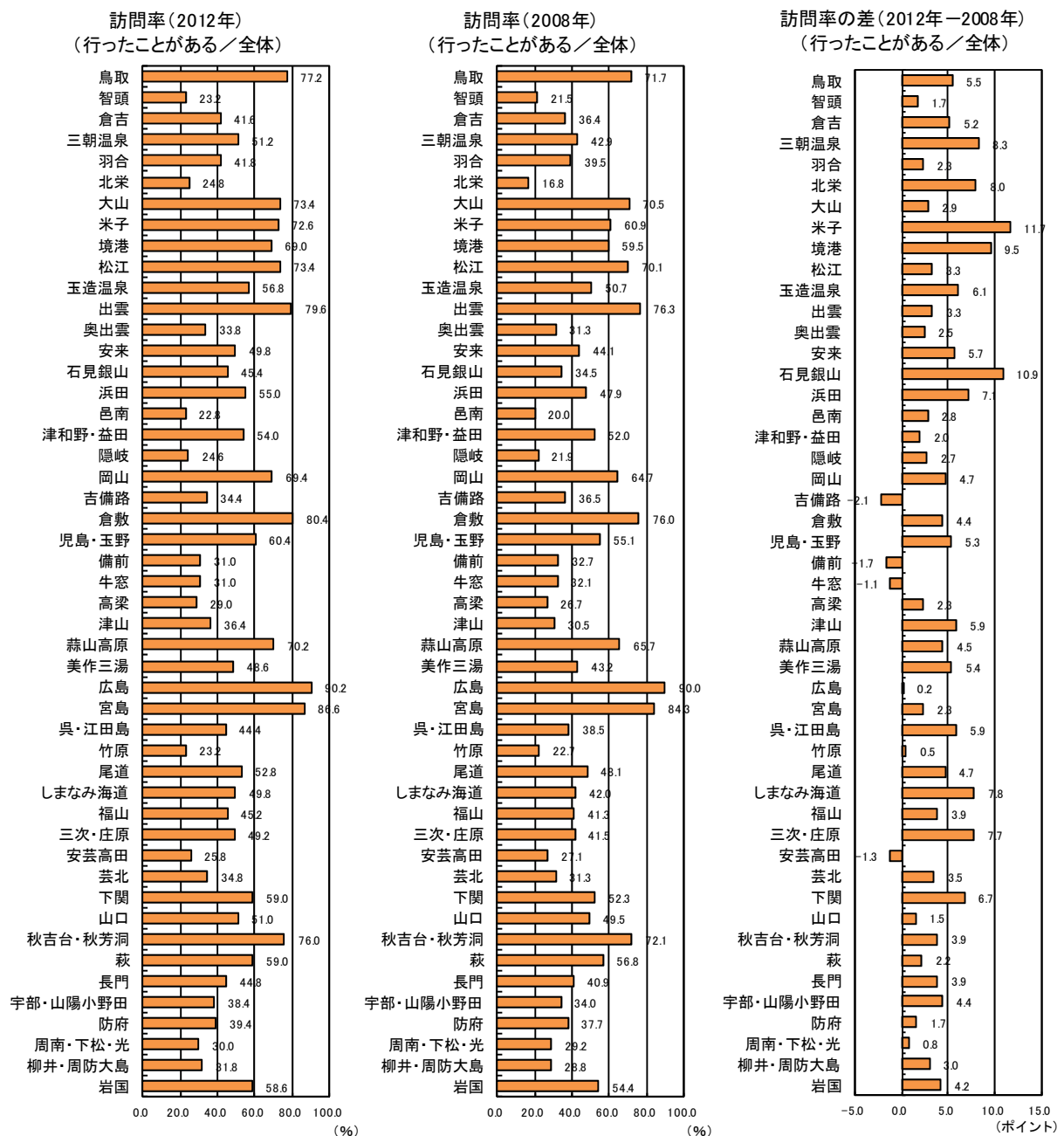


3) 訪問率

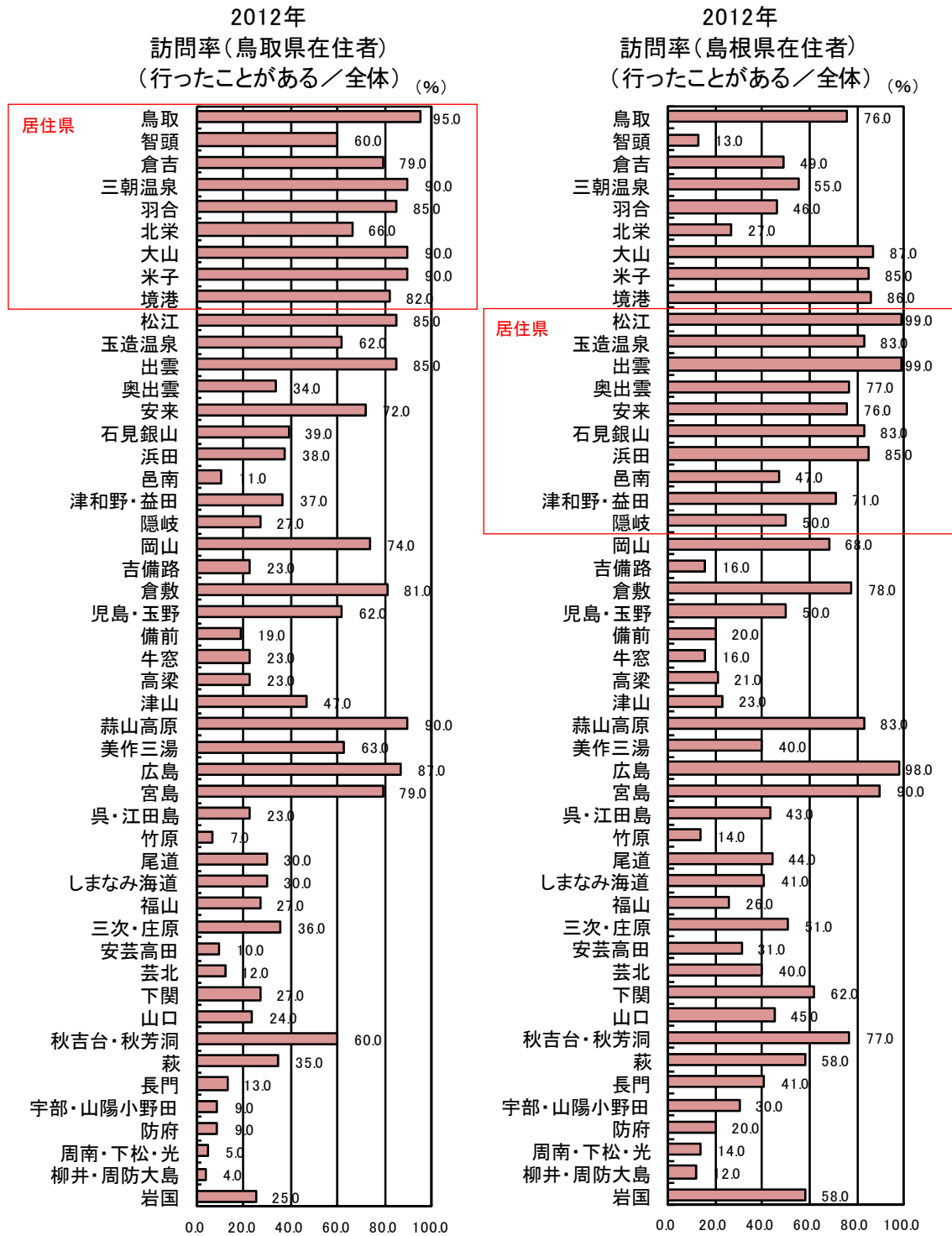
中国地方を49の観光エリアに分けて、その訪問経験および訪問希望を聞いた。設問は各観光エリアについての訪問経験と訪問希望を以下の選択肢で聞いている。

行ったことがある		行ったことがない		
1. また行きたい	2. また行きたいとは思わない	3. 行ってみたい	4. 行ってみたいとは思わない	5. 知らない・わからない

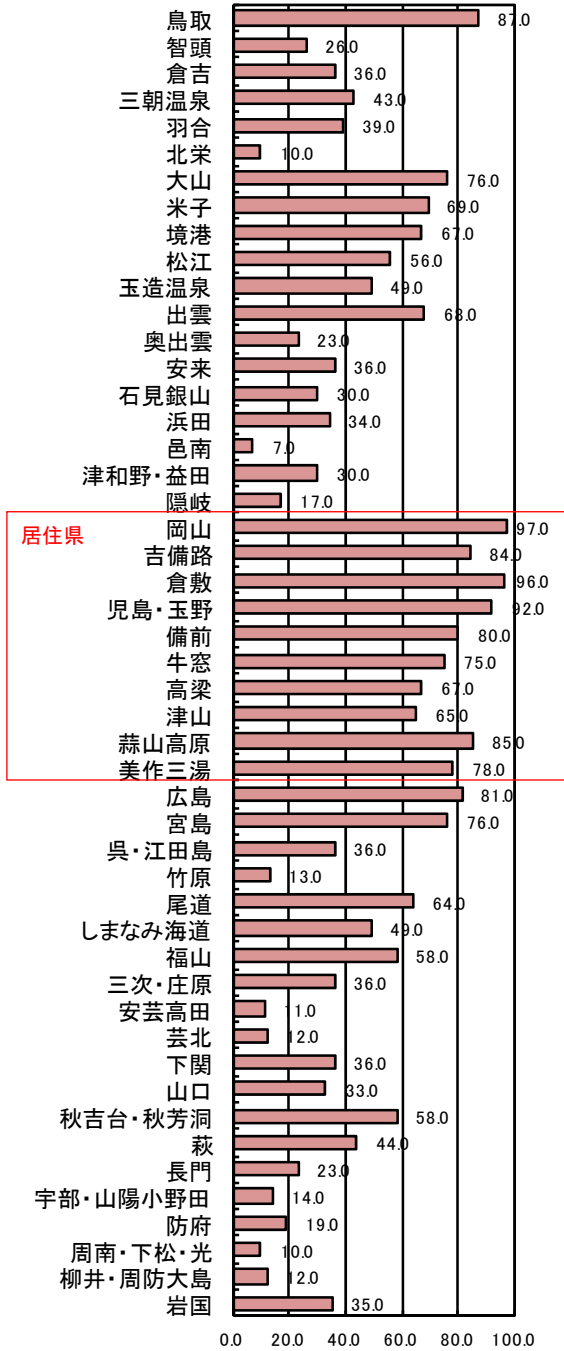
訪問経験の有無について、最も訪問した人が多かったのは広島であり、9割の人が「行ったことがある」と回答している。次いで宮島、倉敷、出雲、秋吉台・秋芳洞と著名な観光地が上位に並んでいる。2008年調査との差をみると、ほとんどの地域で訪問率が増加している。



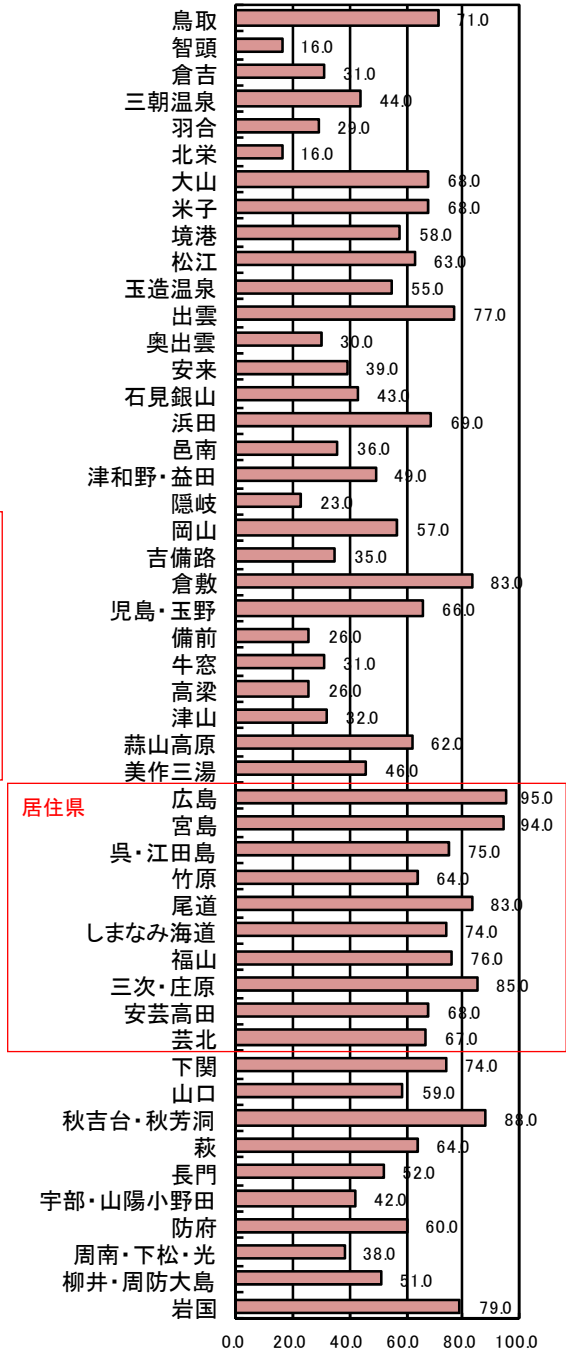
回答者の居住県別に見ると、居住県及び他県の近隣エリアの訪問率が高いほか、他県でも良く知られた観光地の訪問率が高くなっている。各県内の訪問率の詳細を見ると、山口県在住者は県内各エリアの来訪率が全て高くなっており、県内観光地を多くの方が訪れているのに対し、他の4県では訪問率が5～6割程度のエリアがあり、まずは地元の人が地元のエリアを訪れるような取り組みが期待される。



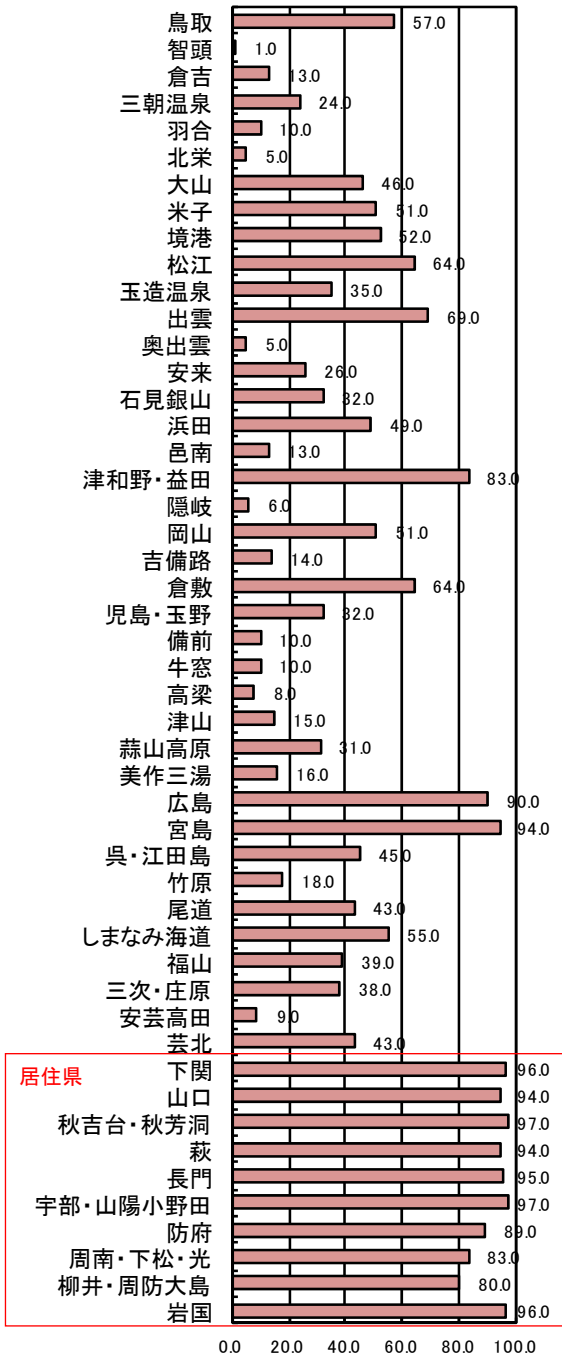
2012年
訪問率(岡山県在住者)
(行ったことがある/全体) (%)



2012年
訪問率(広島県在住者)
(行ったことがある/全体) (%)



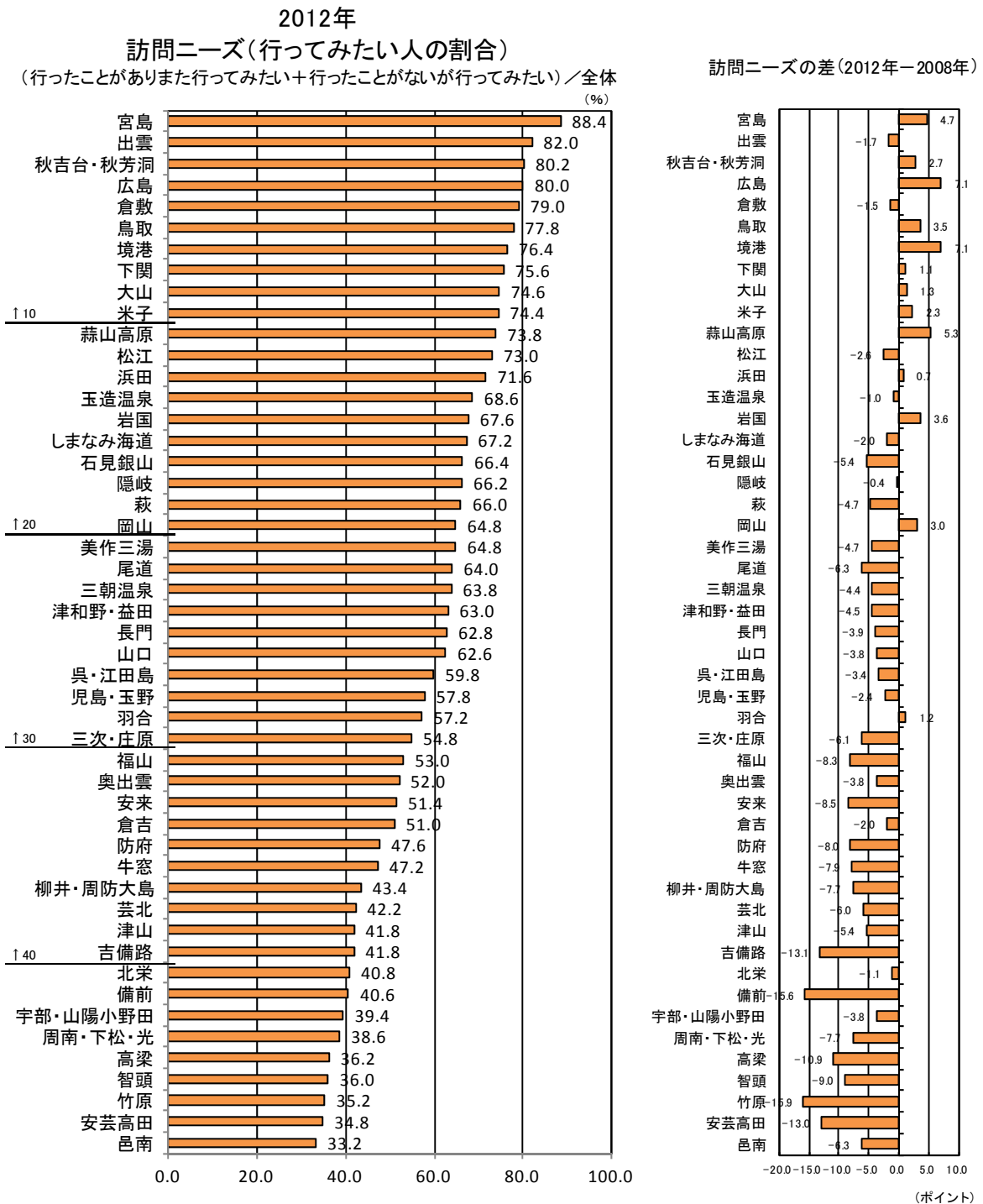
2012年
訪問率(山口県在住者)
(行ったことがある/全体) (%)



山口県在住者は
県内エリアの訪
問率が高い
↓
どのエリアも
魅力がある

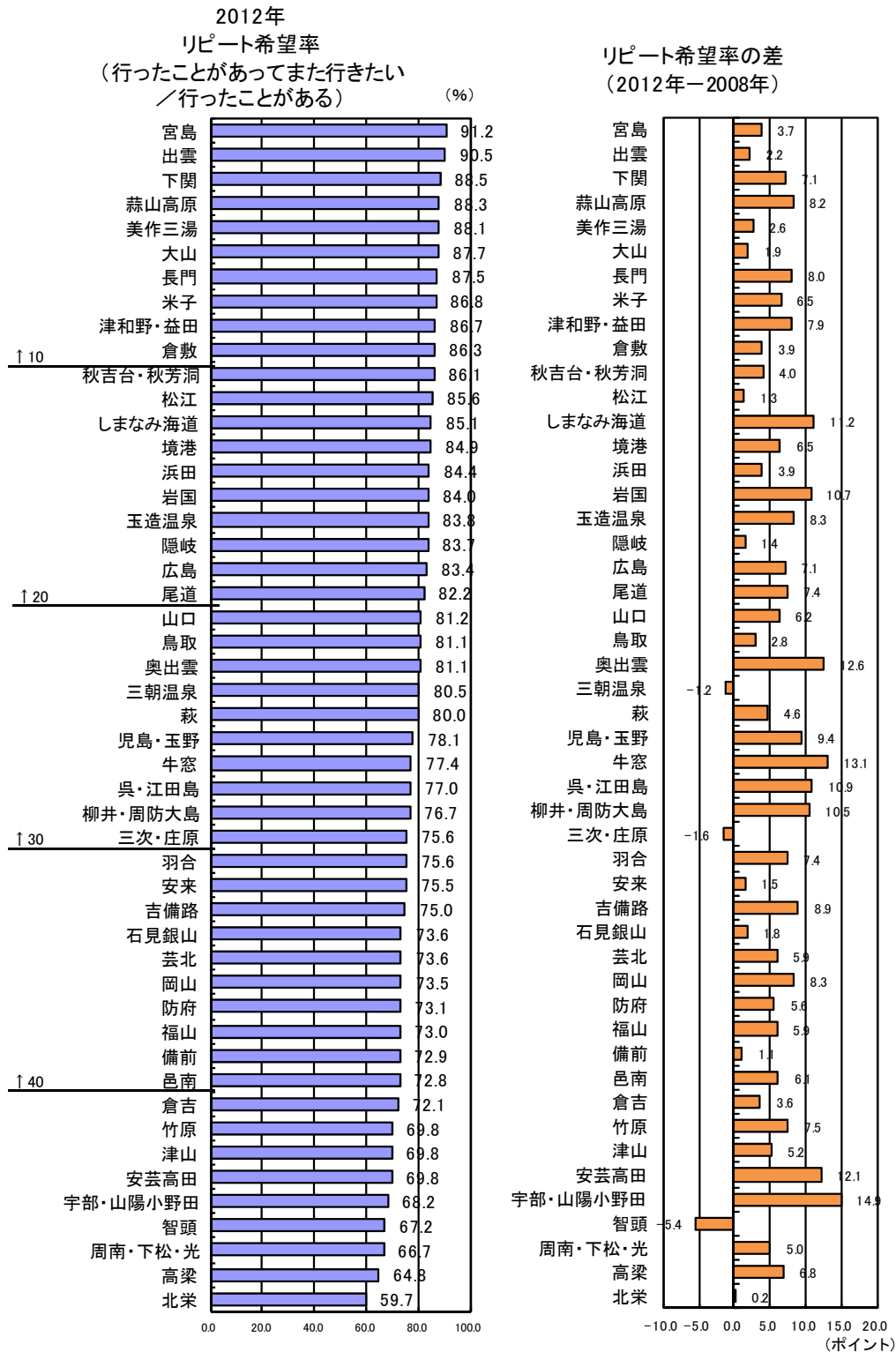
4) リポート希望率、訪問希望率

回答者全体のうち、「行ってみたい」と回答した人（「行ったことがありますまた行ってみたい」及び「行ったことはないが行ってみたい」の合計）の割合は、宮島、出雲、秋吉台・秋芳洞、広島が8割以上となっている。全体の7割以上が「行ってみたい」と回答した観光エリアは13 エリア、5割以上の回答は34 エリアとなっており、多くの観光エリアで過半数の人が今後の訪問を希望している。

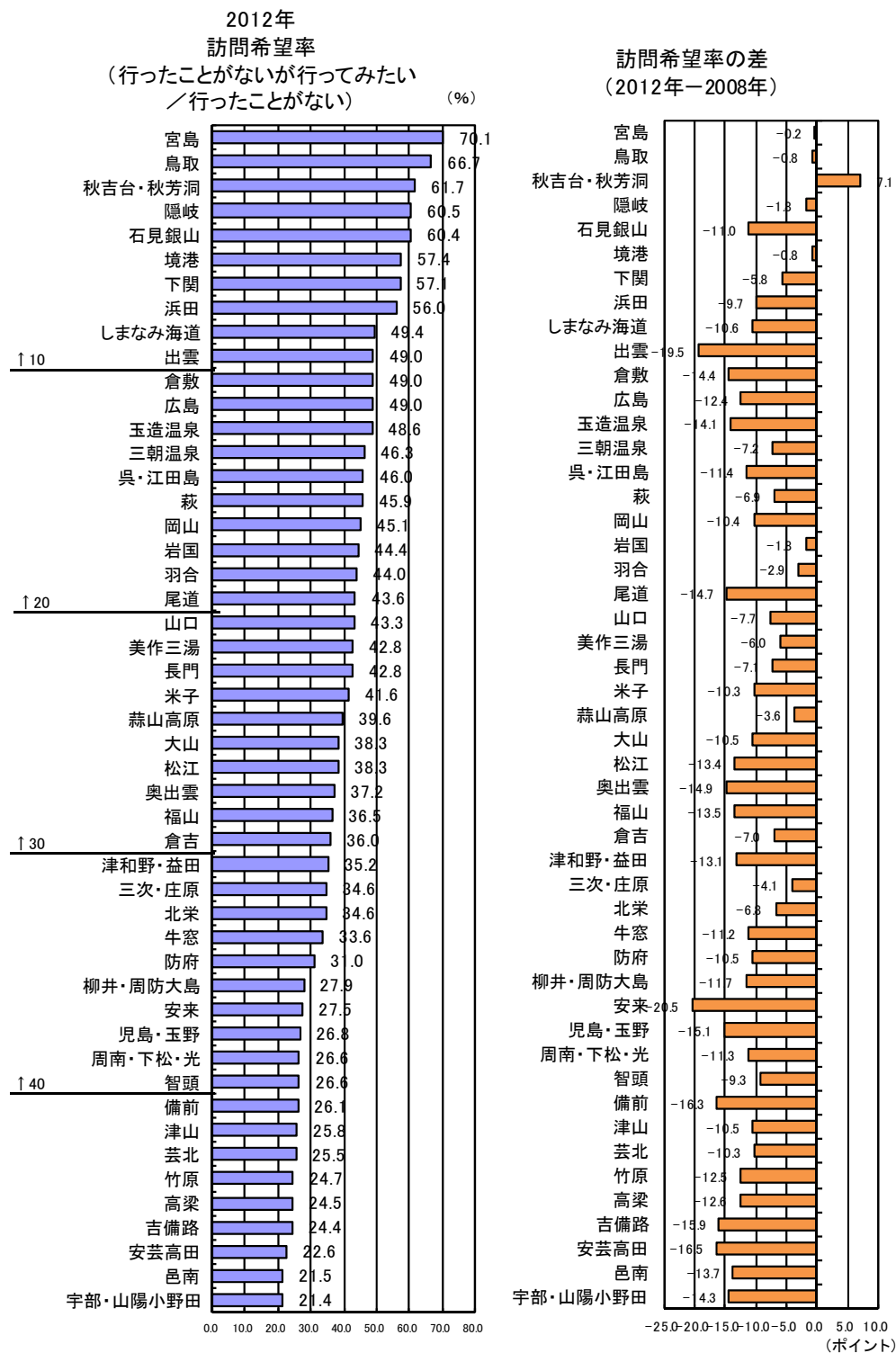


行ったことがある人のうち、また行きたいと回答した人の割合（リピート希望率）が高かったのは、宮島、出雲、下関、蒜山高原、美作三湯などであった。上位 25 番目までが 8 割以上のリピート希望となっており、各地域とも訪問満足度が高くなっている。

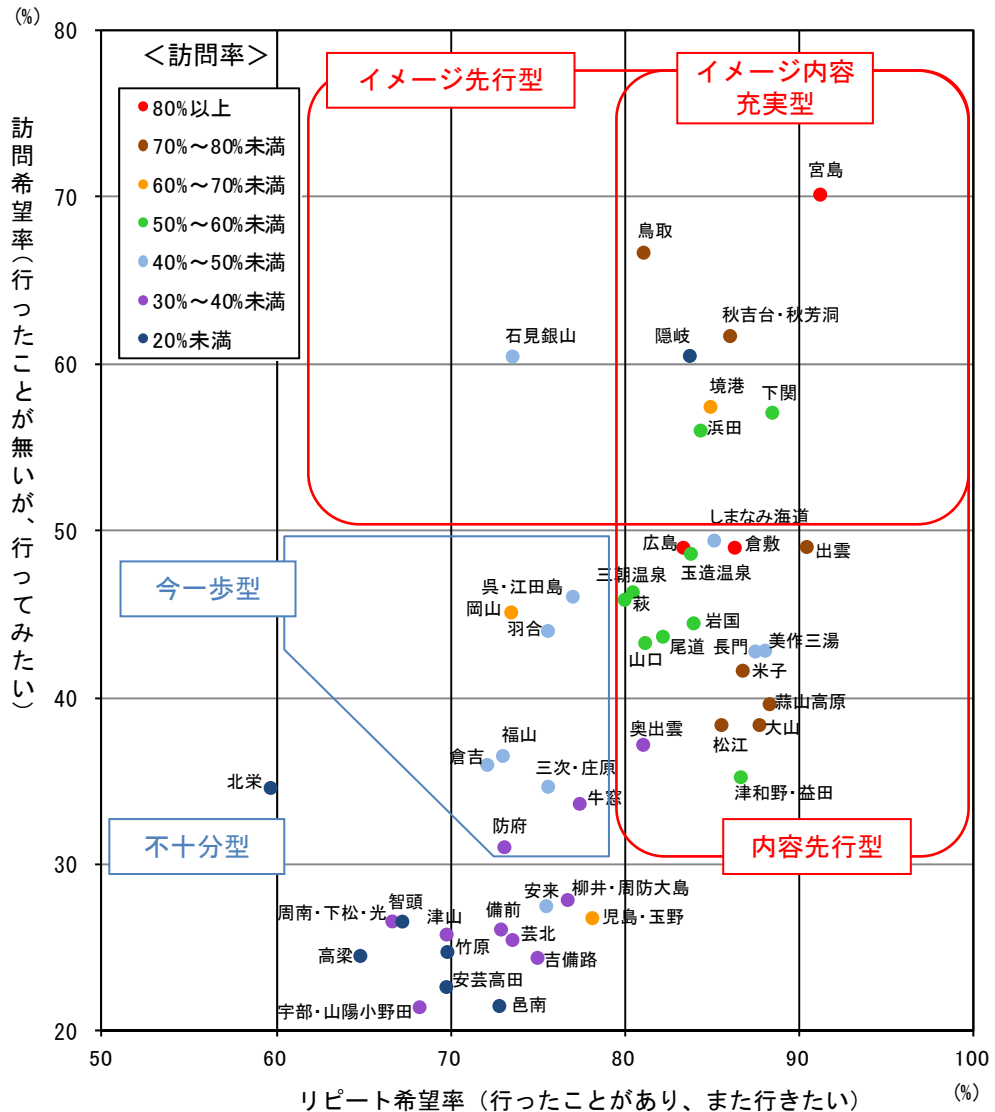
また、行ったことがない人のうち、行ってみたいと回答した人の割合（訪問希望率）については、宮島、鳥取、秋吉台・秋芳洞、隠岐、石見銀山などがあがっている。



2008年調査と比較すると、中国地方の多くの地域でリピート希望率が増加しており、行ったことのある人の満足度は高いが、訪問希望率は多くの地域で減少しており、「行ってみたい」というイメージ形成に至っていない。



リピート希望率と訪問希望率のどちらも高いエリア（イメージ内容充実型）としては、宮島、下関、秋吉台・秋芳洞、境港、浜田、隠岐、鳥取が挙げられる。また、石見銀山などは訪問希望率が高いイメージ先行型、出雲や美作三湯、蒜山高原、大山などはリピート希望率が高い内容先行型と言える。



5) 満足度：訪れた人の評価の高い観光エリア

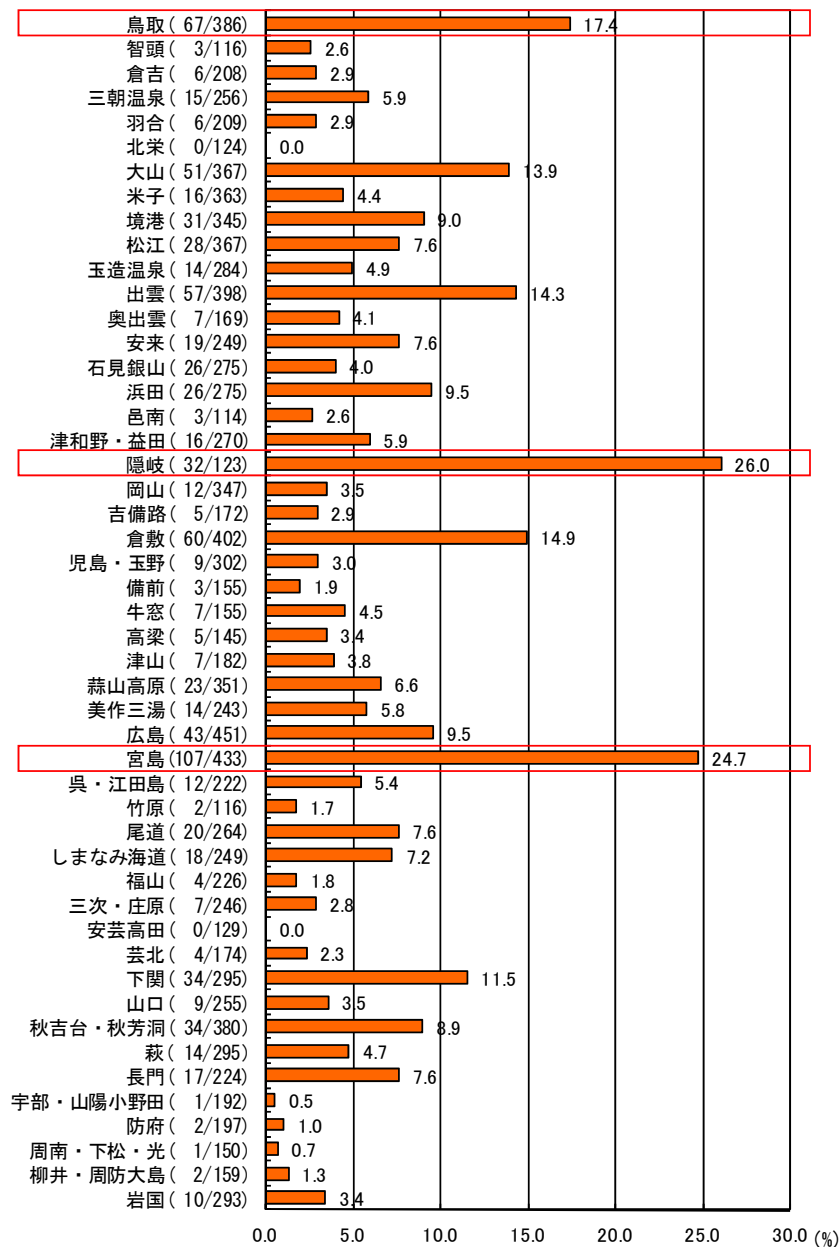
(1) 全体

「行ったことがあり、もう一度行ってみたい」と回答した観光エリアの中から、「とても良かった、感動したからもう一度行ってみたい」エリアを2つまで選んでいただいた。各観光エリアについて「行ったことがある」と回答した人のうち「もう一度行ってみたい」と回答した人の割合は以下の図の通りである。隠岐(26.0%)、宮島(24.7%)、鳥取(17.4%)の3地域が高く、次いで倉敷、出雲、大山などの評価が高い。

2012年 満足度：訪れた人の評価が高い観光エリア
「とても良かった、感動したからもう一度行ってみたい」

※「行ったことがあり、また行ってみたい」と回答した観光エリアの中から、「とても良かった、感動したからもう一度行ってみたい」エリアを2つまで選んでいただいた。(n=500)

※エリア名後のカッコ内数値は「もう1度行きたい人数/行ったことがある人」の実数。グラフ内数値は%。

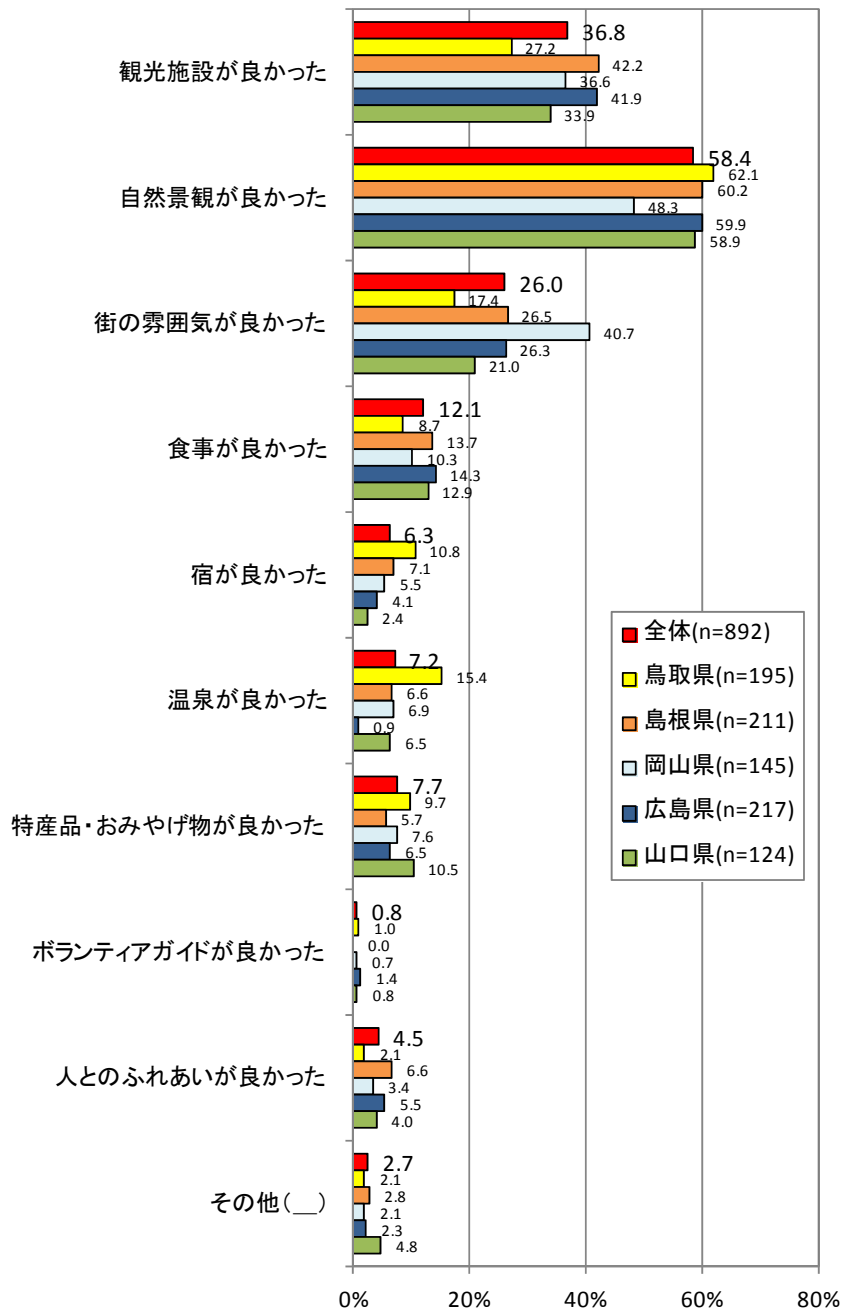


(2) 評価の高い観光エリアの理由

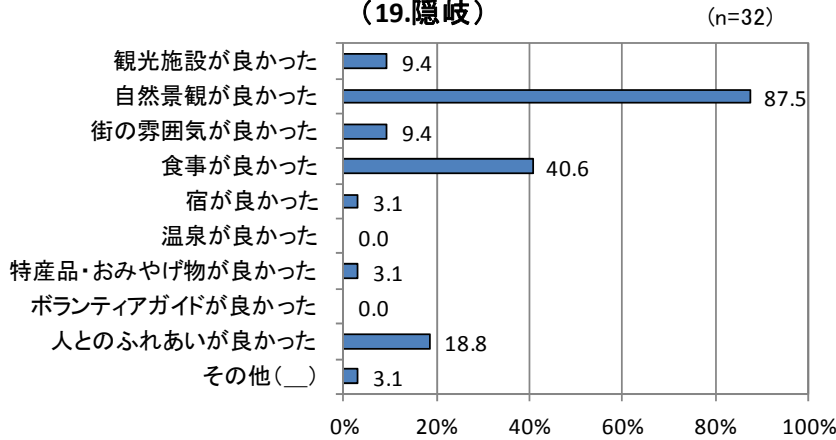
前項で選択した満足した地域について「とても良かった、感動した」内容を2つまで聞いたところ、「自然景観が良かった」という回答が最も多く、全体では6割程度となっている。県別にみると、岡山県では「街の雰囲気が良かった」が2番目に多くなっているほか、鳥取県では「温泉が良かった」という評価が他県よりも相対的に多いことが特徴といえる。

前項で評価の高かった隠岐、宮島、鳥取について詳しくみると、隠岐は島や海などの自然、宮島は厳島神社と島の風景、鳥取は鳥取砂丘など、それぞれ自然景観が良かったという回答が多く、自然景観がリピートを生み出す要因となっていることがわかる。

とても良かった、感動した内容(県別集計)



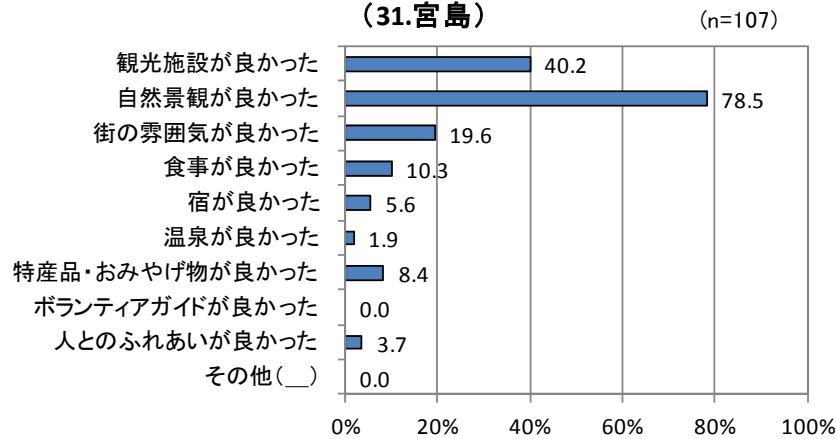
「とても良かった、感動した」内容
(19.隠岐)



良かった場所 (隠岐)

海・海岸	8
島全体	7
自然	6
食事	4
知夫村	4
隠岐国分寺	1
西ノ島	1
海士	1
島後	1
景色	1

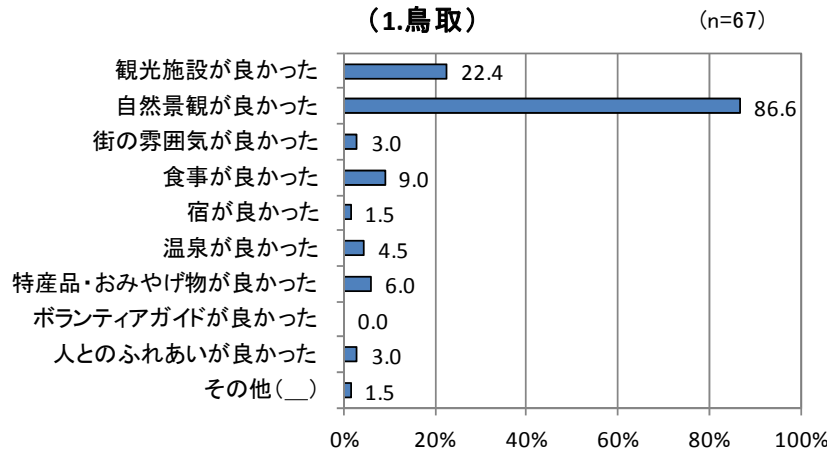
「とても良かった、感動した」内容
(31.宮島)



良かった場所 (宮島)

厳島神社	61
宮島	11
水族館	11
食事	4
世界遺産	4
紅葉	3
弥山	3
その他(船、雰囲気、鹿、ロープウェイなど)	15

「とても良かった、感動した」内容
(1.鳥取)



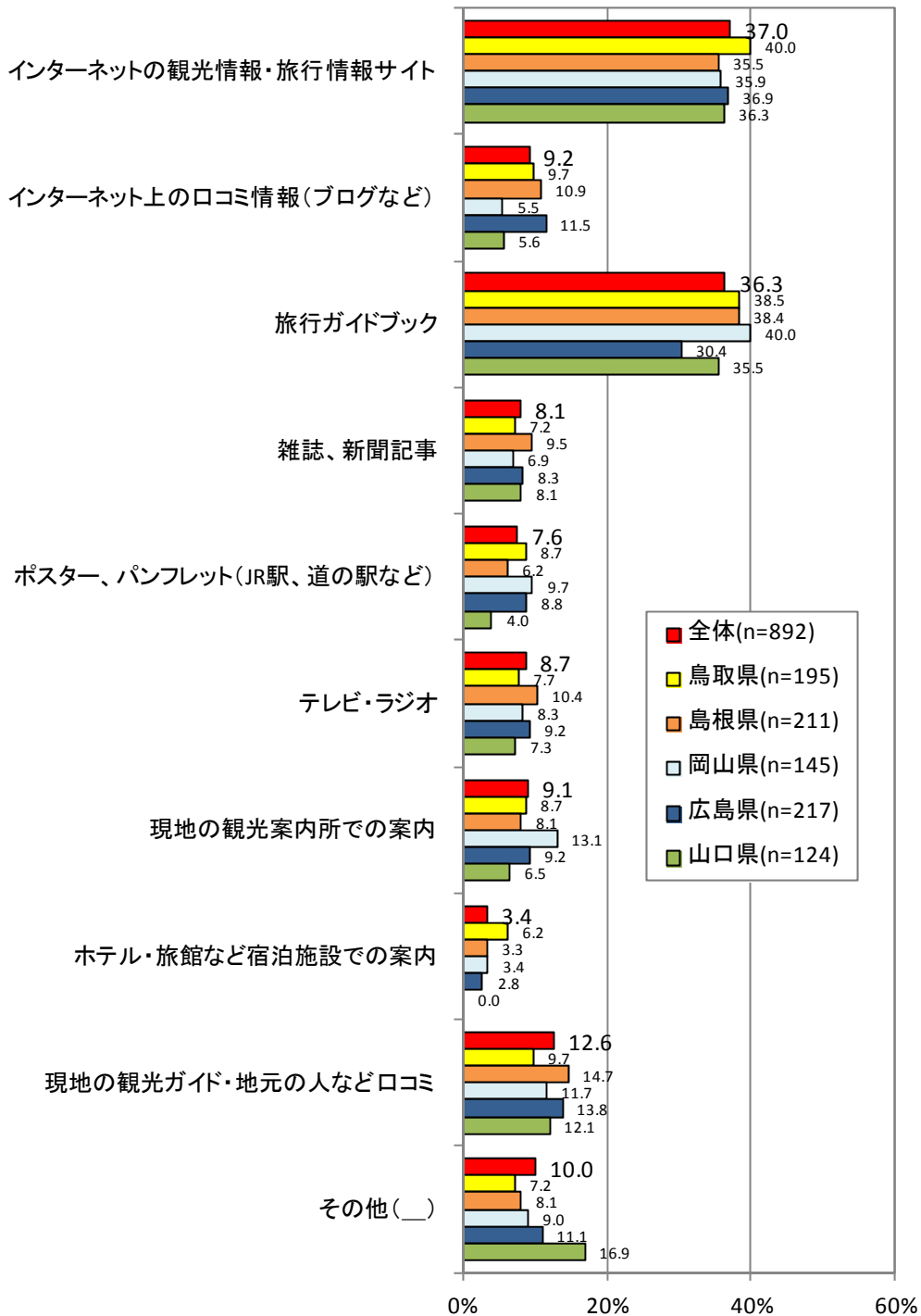
良かった場所 (鳥取)

鳥取砂丘、砂丘の風景	43
浦富海岸(海岸、遊覧船)	11
景色	6
その他(魚・カニ・フルーツ、仁風閣、岩井屋など)	8

(3)役に立った情報源

(1)で選択した満足した地域について役に立った情報源を2つまで聞いたところ、「インターネットの観光情報・旅行情報サイト」及び「旅行ガイドブック」という回答が多かった。WEBアンケートであり、回答者のインターネット利用率は比較的高いサンプルであることを踏まえると、旅行ガイドブックの利用が比較的多いといえる。

良かった場所の観光の際に役にたった情報源(県別集計)



6) 期待度：訪れたことのない人の評価の高い観光エリア

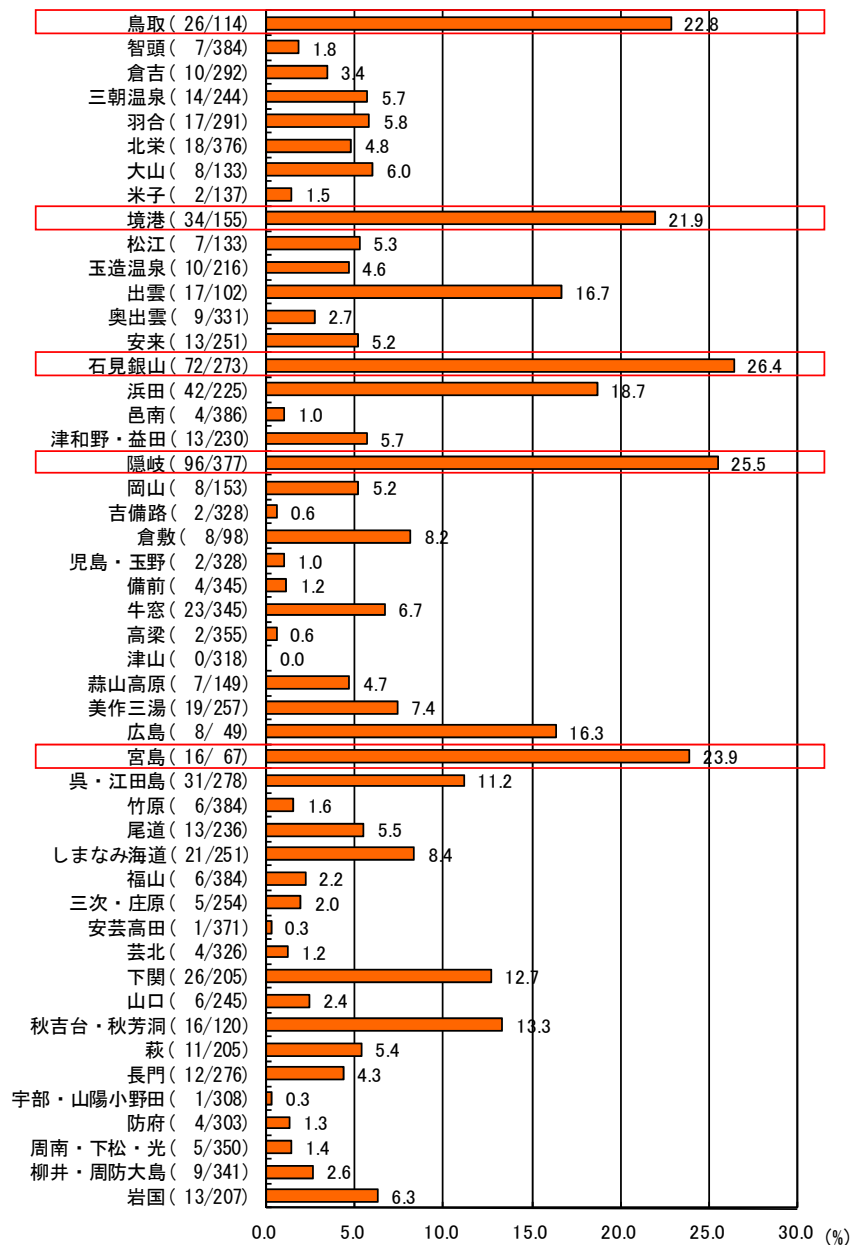
(1) 全体

「行ったことがないが行ってみたい」と回答した観光エリアの中から、「是非行ってみたい」エリアを2つまで選んでいただいた。「行ったことがない」と回答した人のうち「是非行ってみたい」と回答した人の割合は以下の図の通りである。石見銀山(26.4%)、隠岐(25.5%)、宮島(23.9%)、鳥取(22.8%)、境港(21.9%)の5地域が高く、次いで浜田、出雲、広島などの評価が高い。

2012年 期待度：訪れたことのない人の評価が高い観光エリア
「行ったことがないが、是非行ってみたい」

※「行ったことがないが、行ってみたい」と回答した観光エリアの中から、「是非行ってみたい」エリアを2つまで選んでいただいた。
(n=750)

※エリア名後のカッコ内数値は「是非行ってみたい人数/行ったことがない人」の実数。グラフ内数値は%。

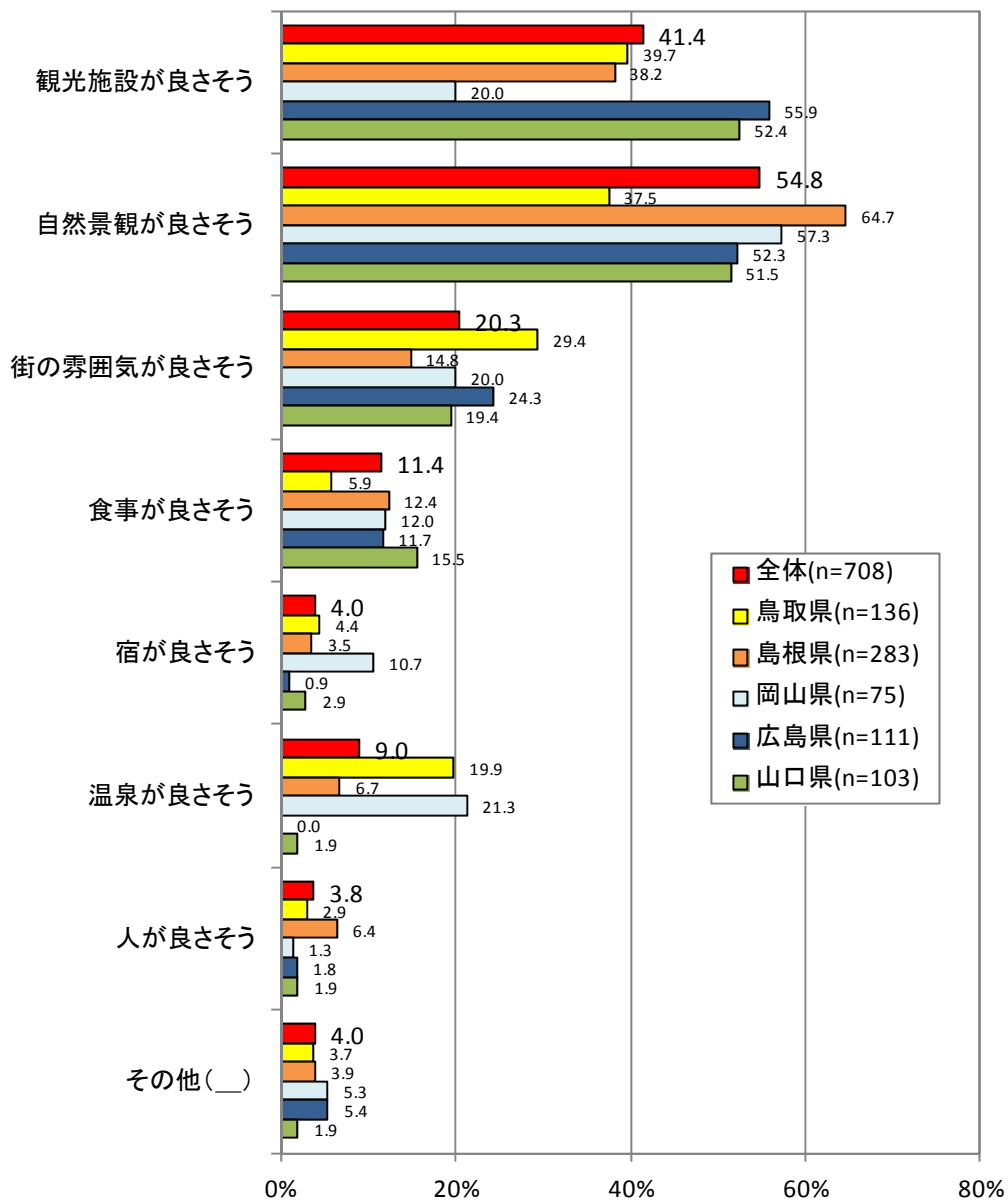


(2) 評価の高い観光エリアの理由

前項で選択した「是非行ってみたい」と思う地域について、「行ってみたい理由」を2つまで選んでいただいたところ、「自然景観が良さそう」がもっとも多く、次いで「観光施設が良さそう」となっている。県別にみると、鳥取県では自然景観よりも観光施設が上回っているほか、岡山県では自然景観に次いで温泉を挙げる人が多くなっている。

前項で評価の高かった石見銀山、隠岐、宮島、鳥取、境港の5地域について理由を詳しくみると、各地域とも「自然景観が良さそう」という回答が多くなっているが、境港では「観光施設が良さそう」が多くなっており、水木しげるロードなどの観光施設に行ってみたいという声が多い。

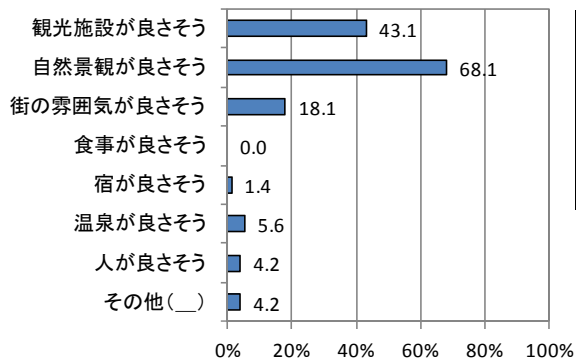
「行ってみたい」と思う理由(県別集計)



「行ってみたい」と思う理由

(15.石見銀山)

(n=72)



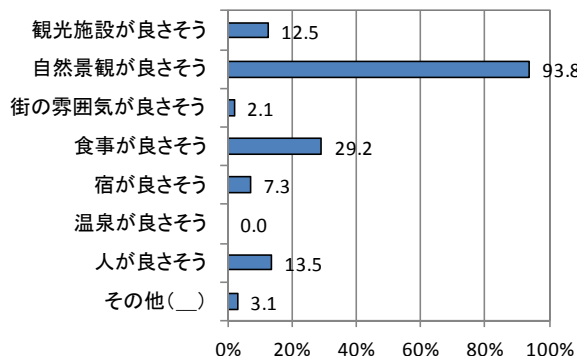
行ってみたいと思う理由 (石見銀山)

世界遺産だから	41
銀山(跡)、歴史	16
なんとなく	5
三瓶山、山、自然	4
その他(温泉津温泉、行く予定がある、景色)	8

「行ってみたい」と思う理由

(19.隠岐)

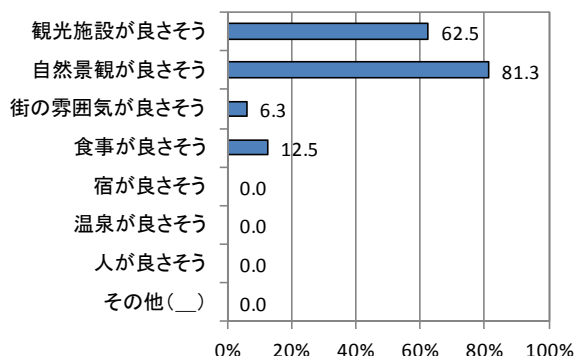
(n=96)



「行ってみたい」と思う理由

(31.宮島)

(n=16)



行ってみたいと思う理由 (隠岐)

自然 (自然、海、夕日)	31
島、景色	22
美味しい食事	19
歴史	8
船、釣り	7
その他	13

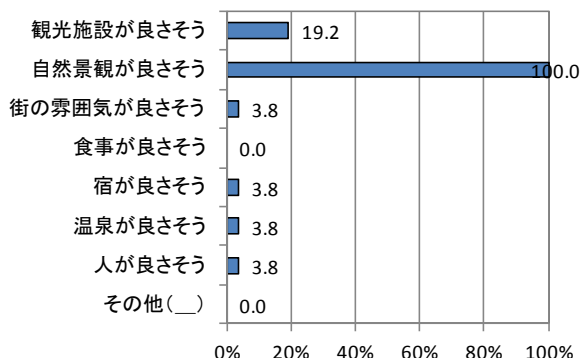
行ってみたいと思う理由 (宮島)

厳島神社	6
景色・景観	4
その他 (有名、世界遺産、パワースポット、鹿、もみじ饅頭など)	6

「行ってみたい」と思う理由

(1.鳥取)

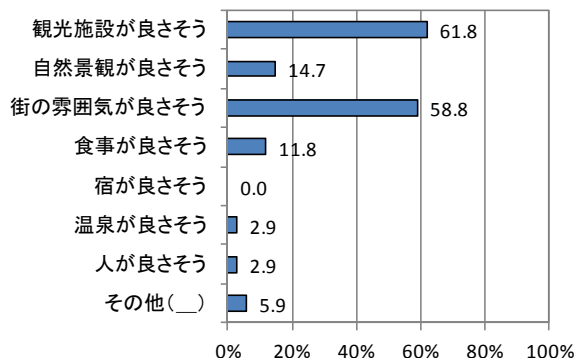
(n=26)



「行ってみたい」と思う理由

(9.境港)

(n=34)



行ってみたいと思う理由 (鳥取)

砂丘に行きたい	21
その他(景色、海鮮など)	5

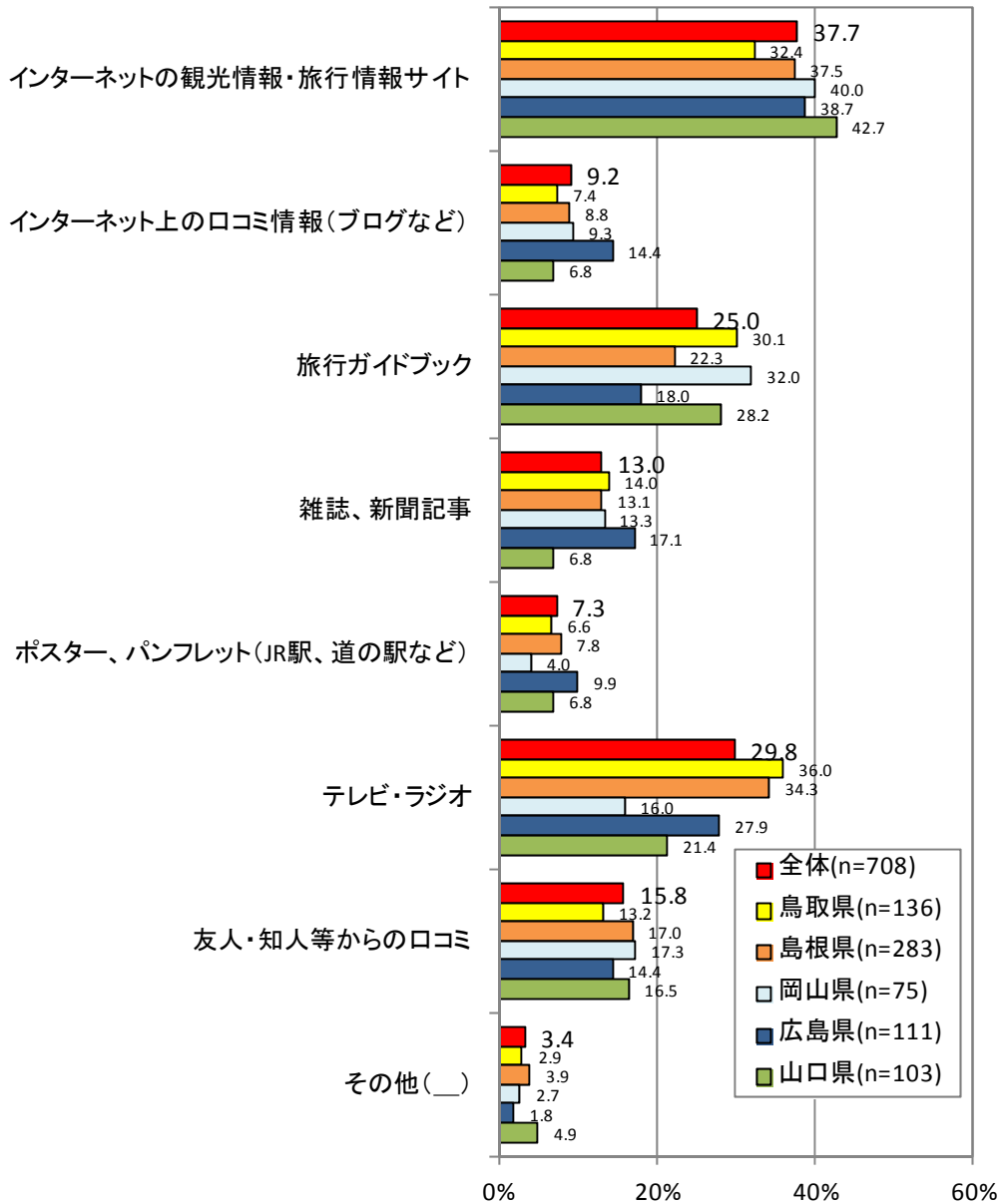
行ってみたいと思う理由 (境港)

水木しげる、鬼太郎、妖怪	24
美味しい物(魚、カニなど)	5
その他(話題だから、有名だからなど)	5

(3) 「行ってみたい」観光エリアの情報源

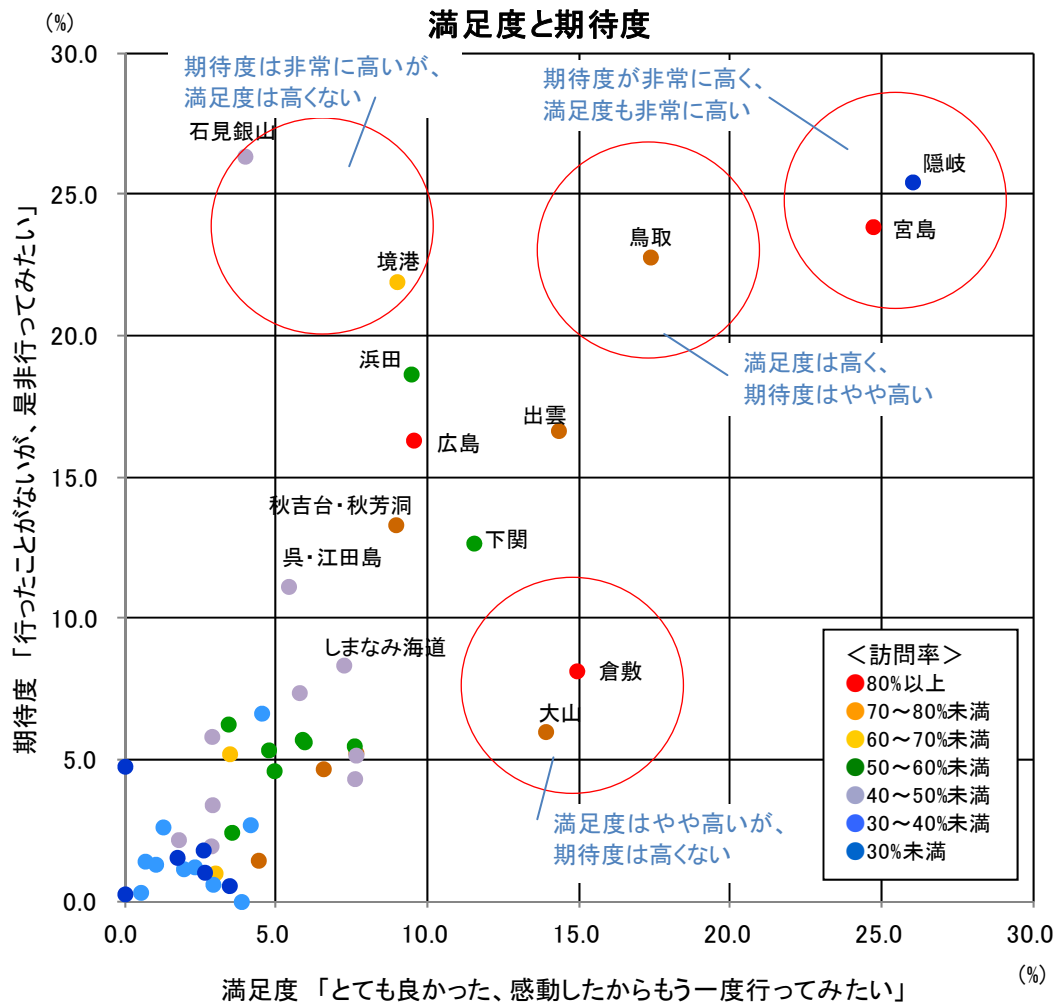
「行ってみたい」観光エリアについて、そのイメージを形成した情報源を2つまで聞いたところ、インターネットの観光情報・旅行情報サイトが全体の37.7%と最も高く、次いでテレビ・ラジオ、旅行ガイドブック、友人・知人等からの口コミと続いている。

「是非行ってみたい」というイメージを形成した情報源(県別集計)



7) 満足度と期待度

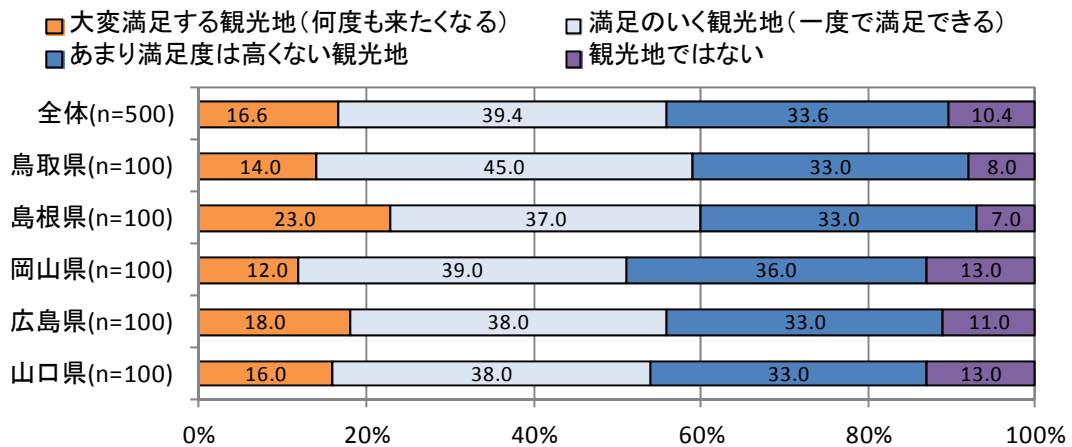
前述した満足度と期待度の関係を見ると、以下の図のようになる。なお、下図において同程度に位置している場合でも、訪問率の違いにより対策が異なることに留意する必要がある。



8) 自分の住んでいる街の評価

自分の住んでいる地域について、観光地としてみた場合の満足度を聞いた。中国地方全体では、自分の住んでいる地域を高く評価している人は17%程度であり、40%程度がやや高い評価をしている。4割程度は自分の地域について観光地としての満足度が低い結果となっている。

住まいの地域について、観光地としてみた場合の満足度



9) 新たな観光スタイルの評価

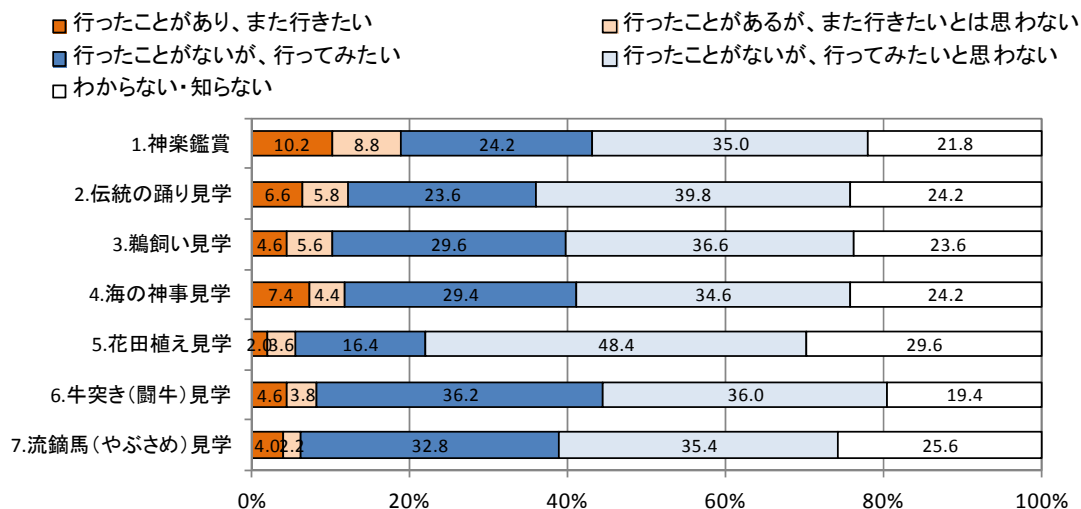
(1) 伝統文化体験

伝統文化体験について、「行ったことがあり、また行ってみたい」という回答は、「神楽鑑賞」、「海の神事（管弦祭、ホーランエンヤなど）見学」が多いが、10%程度であり、体験率（行ったことがある人の割合）は多くても2割程度である。

また、「行ったことがないが行ってみたい」という体験希望率は「牛突き（闘牛）見学」、「流鏝馬（やぶさめ）見学」、「鶺鴒い見学」が高くなっている。

伝統文化体験の有無及び体験希望
(全体)

(n=500)

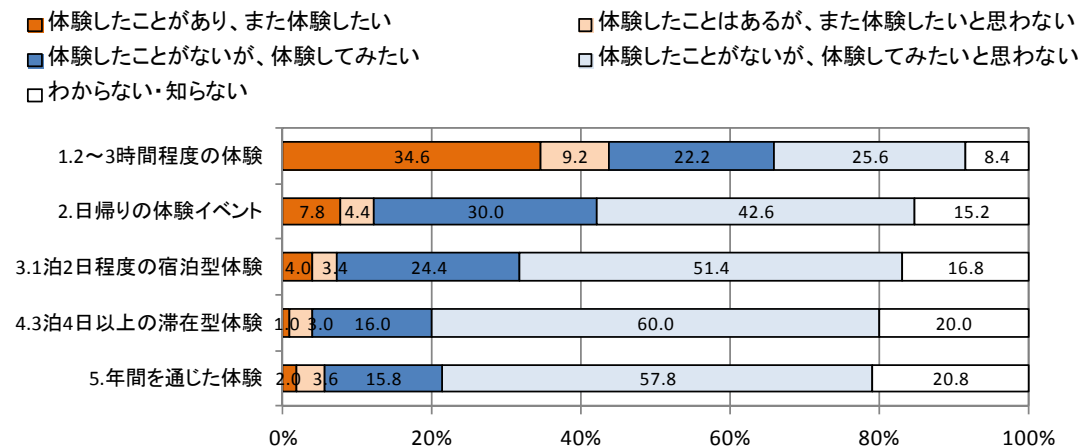


(2) 農業体験・漁業体験

農業体験・漁業体験については、2～3時間程度の体験は4割程度の人が体験しており、リピート希望の人も多くなっている。日帰り、1泊2日、3泊4日と日数が多くなるほど体験したことがある人は減り、体験率は1割を切っている。

農業体験や漁業体験などの体験の有無及び体験希望
(全体)

(n=500)



3. まとめ

1) 中国地方の観光地の実態とイメージ

(1) 訪問率

2008 年度調査に比べ、訪問率は全体的に増加傾向にある。10 ポイント以上増加したのは米子、石見銀山。

中国地方在住者が中国地方内を訪問する割合が全体的に増加しており、安・近・短の旅行を求めた結果ともいえる。

訪問率を県別にみると、各県とも自県内の地域の訪問率が比較的高くなるが、山口県ではその傾向が顕著に表れており、山口県内の全地域が8割以上の訪問率となっている。この傾向は2008年度調査でも同様であり、山口県内の移動が容易であることに加え、山口県内はどの地域の魅力も県内に浸透していることが要因といえる。

(2) 訪問ニーズ

宮島、出雲、秋吉台・秋芳洞、広島は、中国地方在住者の8割以上が「また行きたい／行ってみたい」と回答。

中国地方内で設定した49の観光エリアのうち、34のエリアについて、中国地方在住者の過半数が「行ってみたい（行ったことがあるがまた行ってみたい、行ったことないが行ってみたい）」と回答していることから、今後の訪問ニーズは高く、特に、宮島、出雲、秋吉台・秋芳洞、広島の4地域については8割以上の人が「行ってみたい」と回答しており、人気が高いことがわかった。

(3) リピート希望率

中国地方の観光エリアのリピート希望率は、49地域全てで過半数。訪問者の評価が高い地域は宮島、出雲、下関。

観光エリアの満足度を示す『行ったことがある人のうち「また行ってみたい」人の割合（リピート希望率）』は、全ての観光エリアで5割以上となっており、全体的に満足度は低いことがわかった。リピート希望率が高い地域は宮島(91.2%)、出雲(90.5%)、下関(88.5%)、蒜山高原(88.3%)、美作三湯(88.1%)、大山(87.7%)などが上位に挙げられている。

(4) 訪問希望率

「行ったことがないが行ってみたい」というイメージの良い場所は宮島、鳥取、秋吉台・秋芳洞、隠岐、石見銀山、境港、下関、浜田。

観光エリアのイメージの良さを示す『行ったことがない人のうち「行ってみたい」人の割合（訪問希望率）』をみると、70%以上は宮島(70.1%)のみとなっており、リピート希望率と比べると全体的に低い数字となっている。訪問希望率が過半数だった地域は宮島、鳥取、秋吉台・秋芳洞、隠岐、石見銀山、境港、下関、浜田の8地域のみであり、その他の41地域は半数以下となっている。

2) 評価の高い観光エリアの要因把握

(1) 「行ったことがある」人の評価の高い要因

「とても良かった、感動したからもう一度行ってみたい」地域は、隠岐、宮島、鳥取。その理由は、「自然景観」が多数。

「行ったことのある」地域について、リピート希望の観光エリアの中から「とても良かった、感動したからもう一度行ってみたい」観光エリアを2つまで選んでいただき、各観光エリアについて「とても良かった、感動した」と挙げた人の訪問者に対する割合をみると、隠岐(26.0%)、宮島(24.7%)、鳥取(17.4%)が上位となっており、訪問者の評価が高い地域といえる。それら地域の選択理由を見ると、「自然景観が良かった」という回答が多く、隠岐は海、鳥取は鳥取砂丘、宮島の厳島神社と海の自然などがリピート希望を生んでいることがわかる。

(2) 「行ったことがない」人の評価の高い要因

行ったことがない人は、世界遺産、海、鳥取砂丘など、インターネットやテレビの情報により良いイメージを形成。

「行ったことがないが行ってみたい」と回答した訪問希望の観光エリアの中から「是非行ってみたい」観光エリアを2つまで選んでいただいたところ、行ったことがない人のうち「是非行ってみたい」と挙げた人の割合は、石見銀山(26.4%)、隠岐(25.5%)、宮島(23.9%)、鳥取(22.8%)、境港(21.9%)が上位に挙げられた。

評価の高い理由として、「自然景観が良さそう」という回答が多く、石見銀山は世界遺産のイメージ、宮島は厳島神社、隠岐は海、鳥取は砂丘、境港は水木しげるロードなどのイメージが広く知れ渡っていることがわかる。

「行ってみたい」というイメージを持った情報源について、全回答を総合すると「インターネットの観光情報・旅行情報サイト」が最も多く、次いで「テレビ・ラジオ」、「旅行ガイドブック」となっている。また、「友人・知人等からの口コミ」と「インターネット上の口コミ情報」を合わせた口コミ情報を情報源とする回答も多く、「人から聞いた」という情報も効果的といえる。